

新たなる人材の発掘と組合活動の強化に向けて

第5期ユニオンスクール渡島開校！

次世代を担う労働組合役員の人財育成と、新任役員の資質の強化・育成を目的に行われているユニオンスクール渡島も今年で5年目に入り、3月1日(土)13:30より函館パークホテルにおいて第5期生開校式が行われた。

20名以下で、一体感の持ち合える集中した学習体制を求めてきた本スクールの今年度の受講生は18名になり、集まった時点での受講生の顔は不安感と緊張感に包まれていた。

ユニオンスクール渡島の校長でもある連合渡島地協・荒木会長は、ユニオンスクールの果たす役割や受講生に対する期待感を述べるとともに、今日までの修了生の多くが組合活動の中心的役割をはたしていることや、地域イベントなどの重要な役割を担って奮闘していることなどに触れ、3月・5月・8月に予定している3回の学習会(各4時間・計12時間)に積極的に望んでほしいことを冒頭に訴え、早速学習会へと移行した。

第2期生以降、連続して講師として指導を行っている連合北海道組織対策局・皆川次長の軽快な話術と簡単なゲームでスタートしたスクールの最初は、緊張に凝り固まった雰囲気溶かし、緩やかな雰囲気作りのための「アイスブレイク」。

徐々に笑いや笑顔が出て来たところで、自己紹介も兼ねて職場の状況等を伝えあったり、「連合北海道ユニオンかるた」を使って、様々な用語とその意味を考えあったり、最初の固かった雰囲気はすぐに変わり、気が付けば、お互いが積極的に話したり、共同で作業を行ったり、罰ゲームに爆笑するなど和気藹々の中で進められた。

皆川講師の巧み進め方もあり、4時間という設定も瞬く間に過ぎ、第1回学習会の最後は「労働組合の重要性と組合作り」と題した職場における労働組合の基本学習。

時間が足りなかった感は否定できないが、第1回学習会は無事終了。

第1回目とのこともあり設定された交流・懇親会は、和やかな雰囲気の中で行われ、親しくなった者同士が仕事の内容を紹介したり、連絡番号を交換し合ったり、同年代同士で意気投合したりと、夫々の話が尽きることはなかったが、予定されていた時間が経過し、5月24日(土)に予定している2回目での再開を約して解散となった。

尚、第3回学習会(閉校式)は8月23日(土)を予定しており、ユニオンスクール渡島での名物なった「模擬団体交渉」を行う予定でもある。

